

目次

はじめに	1
川や海での注意点	2
1. 天竜川・遠州海岸ってどんなところ？	3
(1) 天竜川	3
(2) 遠州海岸	3
(3) 鳥になってながめてみよう	4
2. 河原に出かけよう	6
(1) 天竜川上流部（静岡県境～船明ダム）	6
(2) 天竜川支流（気田川・阿多古川など）	7
(3) 天竜川中流部（船明ダム～掛塚橋）	8
(4) 天竜川下流部（掛塚橋～河口）	9
3. 海岸に出かけよう（遠州海岸）	10
4. 山から海への旅	12
(1) 石の大きさ	12
(2) 石の種類	13
5. 手にとってみよう	14
(1) 石を見てみよう	14
(2) 砂を見てみよう	16
6. 石で遊ぼう	18
(1) 石ころ競争	18
(2) 石ころ集め	18
(3) 石ころクラフト	18
7. 石を調べてみよう	20
(1) 石のでき方	20
(2) 石の写真図鑑	22
用語解説	30
さくいん	31
参考・引用文献	33

はじめに

静岡県には、天竜川、菊川、大井川、安倍川、富士川、狩野川など大きな川が流れています。一方、海岸は入り組んだ岩場の多い伊豆半島、広大な砂浜の広がる遠州海岸などがあり、海岸線の長さは506kmにもなります。

実際に川や海に行ってみると、いろいろな種類の石や砂を見ることができます。このような石や砂から、一体どんなことがわかるのでしょうか？

川は、山をけずりながら流れています。けずられてできた石は上流から下流へ運ばれながら、小さな石ころになっていきます。つまり、川や海の石ころは山の地質を代表する石の標本^{ちしつひょうほん}なのです。特に天竜川には、日本列島を代表する岩石のほとんどがあるといわれ、いわば全国の石が見られる「石の博物館」といえます。

このミニガイドは、天竜川と遠州海岸の石や砂で遊んだり、じっくり観察することで、川や海などについて理解を深めていくためのものです。さあ、みなさんも川や海岸に出かけ、石や砂を手にとってみましょう。



静岡県内のおもな河川と遠州海岸の位置図